■あさポケ次号は4月18日㈰の発行です。

学びと出会いの場を提供

生涯学習フェスに市民集う

座間市の『生涯学習フェスティバル』が2月中旬から3月7日まで、ハーモニーホール座間、市立図書館などで行われ、生涯学習に取り組む団体やサークルなど、多くの市民が集い交流した。

今年のテーマは「いつでも どこでも だれでも学べる～気軽に参加楽しさ発見～」。各会場では市内で活動する団体やサークル活動の紹介や発表、生涯学習に興味を持つ市民が気軽に参加できる体験プログラムなどが豊富に用意された。

2月25、26日は、東地区文化センターの高齢者学級「あすなろ大学」の展示と発表。3月4、5日は音楽関係や踊り、ダンスなどの団体、サークルの発表。6、7日は文化や芸術、市民活動などの団体、サークルの発表があった。

フェスティバル最終週の土・日はあいにくの雨降り。それでも来場者は途切れず、各団体、サークルのブースは賑わっていた。実行委員会の今野秀司会長は、「まずまずの賑わいです。各サークルと市民の出会いの場であり、毎年楽しみに来場する市民も多いです。この機会にサークルに入会する方もいますよ」と、手応えを感じている様子だった。

また、3月6、7日、市立図書館2階では、毎年大人気の『ワンスモアBOOKSフェア』もあった。座間図書館ボランティア友の会が行う古本市で、図書館で除籍、不要となった本を1冊10円で市民に販売し、リサイクルするもの。2日間で約6000人が購入し、4854冊が売れた。

友の会代表の遠藤春海さんは「フェアを始めた平成11年から20年度までで約8万冊、図書館玄関での無料配布を含めると、20年度までに約13万8千冊リサイクルしています」と説明する。毎年、売上げで新しい本を購入し、図書館に寄贈している。

写真は上から、水彩そよかぜの展示ブース、初日午前の混雑する古本市、図書館ボランティア友の会のみなさん

ふれあい伝言板

■井戸端カフェに集まれ！

3月23日㈫～27日㈯10時～16時、座間市役所1階市民サロンで。参加無料。最終日は11時半まで。市民活動団体の紹介やミニ講座があります。市民活動について、情報交換や気軽におしゃべりする場です。問合せ＝市民活動サポートセンター☎046（255）0201。

■春のこどもフェア

3月27日㈯9時30分～13時、座間市公民館で。子供対象の楽しいイベント。「巻き寿司作り」「お話し会」「人形劇」「丸太切り」「べっこうあめ作り」「映画会」があります。映画は「ナイトミュージアム2」を上映（10時～）。巻き寿司とべっこうあめのみ有料、他は無料です。幼児は保護者同伴で。問合せ＝公民館☎046（255）3131。

■春の山野草展

3月27日㈯、28日㈰10時～16時30分、座間神社会館すいめい・ギャラリー杜で。座間市谷戸山山野草会主催。問合せ＝神社会館すいめい☎046（251）0245。

■ボクササイズ体験教室

3月28日㈰9時30分～12時30分、座間市公民館で。20歳以上対象。参加無料。専門の講師がエアロビクスとシェイプボクシングを指導。上履き、バスタオル、飲み物持参。動きやすい服装でご参加を。申込み＝公民館☎046（255）3131。

■あすなろ大学クラブ活動展

3月25日㈭～4月11日㈰10時～16時、ハーモニーホール座間・常設展示室で。月曜休館。入場自由。高齢者学級あすなろ大学には、クラブ活動があります。パソコン、デジカメ、わさび田、釣り、そば打ち、合唱などの活動を紹介します。問合せ＝東地区文化センター☎046（253）0781。

座間警察からお知らせ

●『巡回連絡』にご協力を！

交番や駐在所で勤務する警察官は、地域の皆さんの要望・意見をお聞きする活動の一つとして、ご家庭や会社等を訪問する巡回連絡を行っています。警察官は事件・事故の発生状況や防犯に関して情報提供を行い、皆さんからの要望、心配ごとなどの相談に応じています。

●春の交通安全運動を実施

4月6日～15日まで、春の全国交通安全運動を実施します。子供と高齢者の交通事故防止を運動の中心に、①シートベルトとチャイルドシートの正しい着用 ②自転車の安全利用の推進 ③飲酒運転の根絶 ④二輪車の事故防止が重点です。期間中は取り締まりや交通指導を強化しますので、ご理解ご協力お願いします。

緊急時は110番。相談、情報提供、照会等は、座間警察署☎046（256）0110まで。

「賢い子」に育てるためのハッピー親子講座

第8回 子供の納得感を高める極意

―椋木修三―

前回までは、「なぜ子供は勉強しなければならないのか」という子供の質問に親としてしっかりとした解答を持っていたほうがいいというお話しをしてきました。その答えは幾通りもあるでしょうから、「正解」というのはもちろんありません。ただ参考までに解答を私のほうで二つ用意させていただきました。少しでも参考になれば幸いです。

ただ、そこでひとつのポイントがありました。それは、子供は子供なりに「物の道理」というのがわかるのだから、親は子供にわかりやすく説明してやる必要があるということです。「わかりやすい説明」とは、子供が納得できる説明ということです。ただ単に、頭ごなしで「勉強しなさいっ！」では子供は納得しません。納得しないまま勉強しますから勉強が面白くなくなるのです。そればかりか、子供の「考える力」を親がわざわざ殺（そ）いでしまうことになります。だから、勉強が苦痛になり、ますます勉強しなくなるという悪循環に陥るのです。子供だって納得すれば、親は黙っていても子供は自主的に勉強するようになります。とは言っても、子供にわかりやすく話すことは難しいものです。そこで私はいつも「奥の手」を使っていました。それは、子供の感情を刺激することです。子供の感情を刺激する一番の手は、子供の「損得感情」を刺激することです。

下の子が小3の時でした。朝、「おはよう～」と言っても、なかなか返事をしないのです。それが一週間続いたので、私は子供にこう聞きました。「お前、学校に友達が何人いる？」「え～と…5人くらいかなー」「そうか、5人かー。おいさつをしないと友達から人間になるが、それでもいいやだよ」「いやだろ？だったら、明日からはちゃんと挨拶しような…」と。

以後、今でも必ず挨拶をする大人になりましたが、ポイントは「バカにされたくない」という子供の感情への刺激です。特に子供は小さいころは理性よりも「損得感情」で行動を決定させることが多いものです。そこを狙って躾けるのです。すると、理解、納得して自主的に子供は行動するようになるのです。

前、その友達からバカにされたくないかー。お前、最近お父さんが『おはよう』と言っても返事しないよな。」「・・・」「お前、あうかバカにされたくないー」「そうん、バカにされたくない」「そくらいかなー」「そうか、5人かー。おいさつをしないと友達から人間になるが、それでもいいやだよ」「いやだろ？だったら、明日からはちゃんと挨拶しような…」と。

以後、今でも必ず挨拶をする大人になりましたが、ポイントは「バカにされたくない」という子供の感情への刺激です。特に子供は小さいころは理性よりも「損得感情」で行動を決定させることが多いものです。そこを狙って躾けるのです。すると、理解、納得して自主的に子供は行動するようになるのです。

★ASA座間から…3月14日にダイヤ改正された相模線と相鉄線の時刻表（A4サイズ）を差し上げます。ご希望の方はお電話ください。ASA座間☎046（251）1878まで。

みんなのサークル広場

―保育ボランティア―

小さな仲間

子育て中の母親が、座間市公民館主催の講座や催しに参加している間、乳幼児の保育を担当する保育ボランティアサークル。毎年10月～12月にかけて同公民館で開かれる全10回の『親と子が共に育つ教室』などの保育や公民館の各種催しの手伝い、3月の子育てフェスティバルへの参加、他の育児サークルとの交流など、年間を通じ地域社会に貢献している。

昭和53年発足。同公民館で保育ボランティア養成講座があり、その修了生有志により活動がスタートした。当時はまだ、保育付きの催しが一般的でなく、県内で一番早く保育付きを実施したのが座間市であり、同サークルだった。「10人位の小さなグループだったので、単純にこう名付けたんですよ」と、当時を知る元代表の戸矢さんは話す。「座間市が社会教育に熱心だったおかげで、他市より早くいい流れができた」とも。小さな仲間の歴史は、そのまま座間市の保育ボランティアの歴史でもある。同サークルの活動を手本に、市内にいくつもの保育ボランティアグループや育児サークルが誕生していったそうだ。

現在メンバーは、30代～70代の女性約30名。月1回の定例会（第3木曜日）が同公民館であり、活動の打ち合わせや情報交換、親睦も深めている。育児付きの催しの際は、乳幼児30人に対し、メンバー15～20人で保育にあたる。「踊り、歌、絵、手遊び、ピアノなど、色々と才能のある人がいるので、子供たちも楽しんでいます」と代表の岩井さん。

「保育が終わる日は、私たちもお子さんもとても寂しくなる。涙がでそうになります」と子供たちを見守る目は優しい。20年目の清水さんは、「みんな子供が好きだから続けられる。孫も6人近所にいるんですが、保育で来る子供さんも同じぐらいカワイイので…」と話していた。

メンバー募集中。見学歓迎。問い合わせは、座間市公民館☎046（255）3131へ。

座間市商店街㉝

シャディサラダ館ざま店 ファッションパーク わかまつ

社長の若松さん

座間大通り商店会の『シャディサラダ館ざま店』『ファッションパークわかまつ』社長の若松邦男さんにお話しを伺いました。

サラダ館はギフトショップ、わかまつは婦人服専門店です。創業は明治15年で、邦男さんは4代目。呉服屋から始まり、総合衣料とギフトの店を経て、平成5年から現在の営業形態になりました。邦男さんの生まれた頃は、呉服から洋服へ移った時期で、店員も10名ほどおり、高度成長期でとても活気があったそうです。大通りも通行人が多く、商店も数多くある座間で一番の商店街でした。

学生時代から家業を手伝っていたので、後継ぎになるのは自然の流れでした。ギフトの需要が多くなったことから、先代の時、シャディのギフトを始めました。

ギフトに関しては、「お客様の細かな要望に応えられる気の利いた店」を目指し、ギフトに添える『写真入りメッセージカード』の無料作成や市内ご自宅へ無料配達もします。写真入りメッセージカードは1枚でも作ってくれるので、たいへん便利です。また、最近人気の選べるカタログギフト『アズユーライク』は、2625円から10万円まで各種取り揃えています。

婦人服は奥さんが担当。1点ものを原則に仕入れ、コーディネイトなど着こなしのアドバイスにも気軽に応じています。「地元で信頼されるよう、今後も喜んで頂けるサービスに努めます」と邦男さんは話していました。

商店会は現在59店舗で、多くの店が世代交代の時期。「若い後継者が育っている店は、積極的に商店会活動に参加してもらい、新しい発想やアイデアで商店会を盛り上げて欲しい」とのことです。

■シャディサラダ館ざま店／ファッションパークわかまつ 座間1―3357 ㈰9時～18時30分 ㈪日曜・祝日 ☎046（251）0018 ☆お買得ギフト50～30％引きで販売中！